

平成２９年度第１回 精神障害者地域移行推進専門部会議事録

日時 平成２９年７月１０日(月)１８時～１９時半

本庁舎５階大会議室

出席者：渡邊部会長、三好副部会長、浅井委員、石渡委員、岡田委員、奥山委員、
亀山委員、金田一委員、桑田委員、國分委員、多勢委員、千葉委員、西村委員、
深見委員、村山委員、谷下田委員

(事務局)

ただいまから、平成２９年度第１回精神障害者地域移行推進部会を開催いたします。

私は、障害者福祉推進課の高品と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(資料確認)

(障害者福祉推進課長あいさつ)

本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。今年度第１回目の部会となります。今年度も宜しくお願い致します。

委員の皆様におかれましては、日頃より本県の障害福祉の推進に御理解、御協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。また、委員の皆さまには、御多忙のところ、当推進部会の委員を快くお引き受けいただきありがとうございます。

県では今年度、障害福祉の更なる向上を図るため組織改編を行いました。精神保健福祉を含む障害福祉施策の企画等を推進する障害者福祉推進課と、障害者支援施設等におけるサービスの充実を支援する障害福祉事業課の２課体制で障害福祉施策に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は「第五次千葉県障害者計画」が最終年度であり、目標の達成に向けて、引き続き各種施策に取り組んでいくと同時に、皆様方のご意見を取り入れて、次期「第六次千葉県障害者計画」を策定してまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

本日の会議では、第五次千葉県障害者計画の進捗状況について報告させていただき、次期障害者計画の策定方針について、御協議いただくこととしております。

ぜひ、委員の皆様からは、御忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

本県の障害者福祉の推進のため、今後も一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。御挨拶をさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

<委員及び事務局の紹介>

議題

(１) 正・副部会長の選任について

それでは、議題に入ります。

なお、今後の会議運営ですが、記録の関係もございますので、発言をされる場合には、御自分のお名前をおっしゃってから、発言されるようお願いいたします。

また、この会議は本来、部会の会長が座長として進行を行うこととなっておりますが、部会長が決まるまでの間、引き続き私が進行を務めさせていただきます。

まず、議題(1)「正・副部会長の選任」です。自薦他薦どちらでも結構です。どなたかいらっしゃいませんか。

(岡田委員)

渡邊委員を推薦したいと思います。長きにわたって、県の精神保健福祉事業の親展に大きく貢献されており、適任ではないかと思っておりますがいかがでしょうか。

(事務局)

ただいま、渡邊委員御推薦の声がありました。委員の皆さま、いかがでしょうか。

皆さま、御異議ないようですので、渡邊委員、部会長をお願いしてよろしいでしょうか。

(渡邊委員から了承の発言)

ありがとうございます。それでは、本専門部会の部会長に渡邊委員が選任されました。渡邊委員、部会長席に移動をお願いします。

では、早速で恐縮ですが、渡邊部会長から御挨拶をお願いします。

(渡邊部会長)

渡邊でございます。今年度から委員となった私が部会長というのは大変恐縮でございますが、障害をもつ方々が千葉県で生き生きと暮らすことができるような枠組みを皆さんで検討したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

どうもありがとうございました。

それでは、ここからは、渡邊部会長に進行をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

(渡邊部会長)

渡邊です。よろしくお願いいたします。

では続いて副部会長ですが、昨年度も委員として参加されている、三好委員に副部会長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(拍手)

三好委員、御了承いただけますでしょうか。

ありがとうございます。それでは三好委員、副部会長席へ御移動をお願いいたします。

早速で恐縮ですが、三好副部会長から御挨拶をお願いいたします。

(三好副部会長)

三好です。そうそうたるメンバーの中で副部会長ということで、渡邊部会長とともに、議論を重ねていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、議題(2)報告事項「第五次千葉県障害者計画の進捗状況」について事務局から説明をお願いします。説明の後、御意見等をお願いしたいと思います。それでは説明をお願いします。

(事務局から説明)

(渡邊部会長)

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして皆様方から御質問等ございましたらお願いいたします。

(亀山委員)

ピアサポーターについて。先月、山武圏域で、ピアサポーターの話をした際、ピアを知らない人が多く、もっと精神のピアとの接点を増やしていきたい。ピアと地域がふれ合う機会を増やしたい。各地域で関わりができるようにしたい。

(事務局)

ピアの活用については、引き続き今後も議論を重ねていきたい、また市町村への依頼も検討したい。

(深見委員)

県のピアサポーターの養成研修とはどういう内容か。研修を受けた人に対して認定をするのか。障害のある人の目線でつくられていると心強い。レクチャーがないと長く続けられるものではないのか。

(事務局)

精神障害者ピアサポート専門員養成研修について。年1回実施。一定のカリキュラムを設けて就職へつなげていくイメージ。受講対象も細かく実習が15日120時間あり、かなりきつい。

(國分委員)

精神障害者地域移行・地域定着協力病院について。病院に聞くと、申請書を出し忘れていた、など相談員の意識が薄い部分があるので、県からも要請してほしい。

(事務局)

各圏域で実施している、地域移行支援協議会でも話をしていきたい。

(桑田委員)

- ①ひきこもり地域支援センターがアウトリーチを行っているのか。情報提供機関というイメージ。
- ②資料２の「第五次障害者計画 数値目標 達成状況管理表」の中で、アウトリーチ型の訪問件数の目標値が平成２８年 １００件、平成２９年が２００件とあり、実績とだいぶ離れているが、この数値設定の根拠は。

(事務局)

- ①ひきこもり地域支援センターは、菜の花会に委託して実施しており、電話相談が主な対応である。アウトリーチについては、今後検討していく。
- ②現時点では資料がないため、確認出来次第、報告する。

(深見委員)

ひきこもり支援は、船橋の佐々木病院の斎藤環先生が中心となって動いていた。筑波大に行ってからか、メディアでも取り上げられなくなっている。どのくらいの人がいて、どのくらい増加しているのか。

(事務局)

内閣府は推計７０万人としているが、４０歳以上の人数が反映されておらず、高齢者の実数をどう把握するかは今後の課題。

(渡邊部会長)

続きまして、(３) 審議事項「第六次千葉県障害者計画の策定」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明：「第六次障害者計画の策定について」)

(渡邊部会長)

何か御質問等ございましたらお願いします。

(浅井委員)

- ①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について。高齢者福祉における地域包括ケアシステムとは別建ての、精神障害分野に特化していたものとイメージしているのか。
- ②「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」では圏域ごとの保健、医療、福祉関

係者による協議の場を設置するとされている。現状、圏域ごとに地域移行支援協議会があると思うが、協議会との兼ね合いは。

（事務局）

①その通り。

②現時点では、地域の事業所に委託して実施しているが、協議の場という意味では、ほぼ一緒の内容である。保健所主導とするかについては、要検討。

（奥山委員）

基盤整備量について。どのように算出するのか。

（事務局）

1年以上の長期入院精神障害者の地域移行のための入院需要と、地域移行に伴う基盤整備量（利用者数）の目標値を国の推計式により明確化させる。

（國分委員）

次期第六次千葉県障害者計画に向けて、県障害者福祉推進課の担当者が各団体へヒアリングを行ってきているが、その意見（意見書を含む）はどのように加味されるのか？

（事務局）

これから対応していく予定

（金田一委員）

高齢者福祉計画と医療計画も今年度策定すると思うが、そのあたりは。

（事務局）

両計画とも連携しながら作業をすすめる。

（國分委員）

精神障害者手帳所持者の程度の割合（現障害者計画 P14）で、65歳以上の1級所持者が増えているのはなぜか。

（深見委員）

高齢者については不明だが、20歳未満の人は手帳の申請に躊躇することもあり、申請するとなれば程度が重いケースが多い。

（渡邊部会長）

最後に、議題(4)その他、として何かありましたらお願いします。

（事務局より2回目開催にあたり、日程表記入のお知らせ）

（渡邊部会長）

ありがとうございました。

それでは、こちらで議事を終了し、進行を事務局にお返しいたします。

（事務局）

それでは、以上をもちまして本日の「第 1 回精神障害者地域移行推進専門部会」を終了いたします。

長時間にわたり御審議をいただきありがとうございました。次回開催については、改めて御案内させていただきます。

以上でございます。本日はお疲れ様でした。